

会報 第11号

発行
NPO法人 豊齡研ITサロン会津
編集・印刷・発行
長谷川友仁

人生を楽しく生きる

わいわい21

http://www.aizu.gr.jp/

特定非営利活動法人
豊齡研

ITサロン会津

私たちは、私たちの暮らす福島県会津の地における高齢者のために、情報通信技術などに関する支援をするともに、企業や行政とのパートナーシップの形成により、福祉の向上と地域社会の発展に寄与することを目的としてボランティア活動を行っているNPO活動法人です。

返信率三パーセント eメールなら一〇〇パーセント



特別顧問
渡辺紀士見

はがきは
ファースト・メール。
eメールは
スロー・メール。

そう言い換えても間違いではないだろう。生命保険会社の役員を務めた金平敬之助さんという方が自筆の『一枚のはがき』（PHPエール新書）でファースト・メールとスロー・メールの違いを次のように喝破している。
気楽に出せる。
速い。安い。
これがeメールの特徴だろう。
めくもりがある。
十年経っても読み返せる。

病床の枕元に置く。
これがはがきの持ち味か。
「いつはがきって
こちらもい。」
あとは出すだけです。
あとは打つだけです。
このごろ、ようやくとeメールで季節の挨拶はできるようになった。楽しい。そして、eメールの返事は必ず書くように心がけている。
なかでも、最近びっくりしたりうらやましかったりするのには、写真付きメールである。

面に入った伴奏音楽付き。こんな時はパソコン全体がウキウキしているように感じるから不思議だ。
「豊齡研ITサロン会津」での勉強の成果のなにもでもないだろう。
四月は転勤、退職の挨拶状を今年多くいただいた。印刷だけの活字だけ。添え書きがない。自分宛ての挨拶状であっても正直言っておく。
それから、eメールの挨拶状はさすがにこなかった。もし、送信されてきたとすれば、悲しさが先に立つた。なぜなら、パソコンの画面はまだまだ白く冷たくて人の感情を逆なでするからだ。
先の金平さんの『一枚のはがき』の本の中に銀行員のこんな話が載っていた。
定年になった。
勤続四十一年だ。

発足五年目を迎える 「わいわい」の豊齡研ITサロン



代表理事
長谷川友仁

二〇〇〇年四月一日 豊齡研ITサロンとして発足。
はつばし五年目を迎えた。

二〇〇一年八月八日「NPO法人」として認証を受け、高齢者のパソコン・インターネットについて、さまざまな角度から取り組んできた。だが、高齢者にとってのパソコンは、高齢者に特有のさまざまな問題が発生する。我々にとっても、新しい経験の連続だったが、重要なのは根気の忍耐だ。ビジネス・パソコンの教室では、対症できない分野であることを確認できた。

分かった問題点と「わいわい」の課題
普通のパソコン教室には中高年者には向いていない。パソコン教室が多々ある。たとえば、知らなくてもいいようなパソコンの仕組みから教えられる。決まったテキストで決まった時間で進んで、中高年者は回数を重ねても理解できないところがあり、聞いていないパソコン用語に多いカタカナ言葉が苦手。たとえば「コントロールパネル」や「タスクバー」と言われても意味が分からない。当会ではパソコンの仕組みではなく、実際の使い方を教える。だが、会員によって覚えたことの違い。これは10人10色。それを乗り越えながら研修である。

「これまで四年間新しい経験の連続だったが、重要なのは根気と忍耐だ。ビジネス・パソコンの教室では、対症できない分野であることを確認できた。
今後はマンツーマンの指導にあたるための根気と忍耐。このあるボランティア指導員の増員を図ってほしい。ぜひともいこう（友仁）
また、普通のパソコン教室ではなく、高齢者のパソコン教室は、楽しく学べるサロンであり、仲間作りや生きがい作りを優先してパソコンの利用技術を学ぶ場所、自遊楽校であることが大切。
「十技術にふれる」との楽しさや一緒に学ぶ仲間との交流の機会がたくさんもてるような運営をこれから目指します。「このような趣旨に賛同の方の支援と協力を今後ともよろしくお願い致します。」

平成一六年度 IT研修概要のご案内



副代表理事
谷分 強

本年度を迎え新たな研修は、スタートしております。若手紙上をお借りしまして内容を紹介させていただきます。

返信率は二％。
現場を離れた悲哀が一番身にしみるときだろう。
返信率三％のサラリーマン諸氏。肩を落とすことはない。パソコンのeメールなら返信率一〇〇％だ。ポケットの自分の名刺なんか捨てちゃえ。
研修予定については、豊齡研のホームページに掲載されますのでどうぞよくご確認になって下さい。
新年度は、初期コースと自遊楽校に区分して、春・夏・秋・冬の四半期ごとの研修項目を掲載しました。例えば、初期コースは、パソコンの基本事項を勉強します。（文字入力から始まりパソコンの基本的な事柄を身に付けます。）
ワード・エクセル・メール&インターネット等の基

本部分を勉強します。四半期ごとにこれを繰り返していきます。

自遊楽校は、春は、デジタルカメラの撮影、共通ソフトのこと、USBメモリの有効活用、CDラベルの作成のこと等の会員の皆さんの興味のある研修を企画しました。
USBメモリについては、もつすでに研修を開始していきすし、ほとんどの会員の方にUSBメモリをお買い求めいただいたので、これを使ってどんどん活用してほしいと思います。
自遊楽校の前半の時間は、これらのテーマをもとに楽しく、わきあいあい進めて参ります。後半は、会員の自遊時間です。研修でのわからないこと、ワードやその他のわからないことを質問したり、わかっている会員がわからない会員にアドバイスや教える時間でもありません。いわゆる問題解決に向けた時間なのです。

豊齡研は、お互い会員同士がパソコンとの触れ合いで楽しく語り合う場所でありお互いの趣味をお互いに親睦を深めるサロンの場所です。
今年度も、これらの趣旨内容をご理解いただき楽しく歩んで参りましょう。

ITサロンに 入会して



会員
塚原美保子

殆ど無の状態に入会して四ヶ月。ITサロン、自遊楽校の名のごとく、パソコンの研修時は勿論のこと、休憩時のお茶請け談話、そしてきれいに取り込まれたデジタルカメラの素晴らしい作品の数々を御披露頂いたり、常に暖かくふんわりと包まれているような、本当に居心地の良い空間に身を置いている感じがします。
驚きと感動の交錯した日々から、やっと解放された感じが、やっと開放された感じが、諸先輩の方々が「繰り返し繰り返しパソコンに触れることが大切」とおっしゃっています。
仲々思い通りにならない物体ですが、のんびり時間をかけて取り組んで行きたいと思っています。

「繰り返し繰り返しパソコンに触れることが大切」とおっしゃっています。
いつか、パソコンを自分のものでして操れる日が来る事を期待して。

パソコン入門 に不安なし



会員
岩沢 宣子

こんなに素晴らしいパソコン教室の自遊楽校にお世話になれるとは夢にも思いませんでした。
入会させていただき、あつた言つ間に半年が過ぎました。
あちこちで開催されている中高年向けの講習会を想像してききましたので、頭の弱い私には羨ましくもあり、とても習得できるものではないとあきらめながら、勤めていたワープロをこなしていたのだから、せめてメールの文章位は打てるだ

ろつと軽い気持ちと疑心暗鬼で入会しました。中途入会にも拘らず、初歩から親切丁寧な指導と、いつでもサポートして下さる安心感と、休まざるを得ない日も、繰り返しされる勉強の方法に感動し、感謝の気持ちで一杯です。
そして今、入会前の不安は全くなくなり、むしろ早く習得したいことが沢山あり、一日でも早く入会すれば良かった（一年程前より宗像さんよりお誘いがあったので）、益々意欲が湧いているこの頃です。
あせらず、慣れ親しむ迄は長い時間がかかりそうですが、未長くご指導下さいませ。お願い致します。

気楽に!!



会員
堀 篤子

パソコン教室に通い始めて五ヶ月。時々欠席。何か身についたかしら？ でも私にとって金曜日の午前中はリラックスできる一時的なです。
まったくしがらみがなく、覚えようが覚えまいが自分の責任、気楽なものです。
この教室の皆さんは気持ちの余裕のある方々だと感じています。

とても素直がゆくと、ゆったりとした気持ちで受講することが出来ます。これからも自分に嫌気がささない限り続けようと思つようになりまして。
それにして四月からは、家に居る時にパソコンに向かう時間を作る努力をしなければなりませんね。実生活においても大いに活用できるようになればどんなに楽しくなることでしょうか。
「継続は力なり」ですか？どこかで目にしました。



2004/4/9
午前のIT教室
(35名参加)



2004/4/9
午後茶会
IT教室
(34名参加)